

粕屋町第 3 回総合戦略推進会議要録

日時：11月28日（木）14:00～15:30

場所：粕屋町役場 3 階 31 会議室

<p>次 第</p>	<p>1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 協議事項     (1) 住民アンケートの結果（速報）について     (2) 第2期総合戦略（素案）について 4. 事務連絡     第4回粕屋町まち・ひと・しごと創生会議     令和元年12月23日（月）午後2時～     粕屋町役場 3 階 31 会議室 5. 閉会</p>
<p>会議要録</p>	
<p>2. 会長あいさつ</p>	<p>○本日の協議事項は、「住民アンケートの結果について」と「第2次総合戦略素案について」となる。限られた時間だが、しっかり議論していきたいのでご協力をよろしく願いたい。</p>
<p>3. 協議事項     (1) 住民アンケートの結果         (速報)</p>	<p>（事務局より協議事項（1）の説明後意見交換） ■住民アンケート調査結果について （質疑） 【会長】 ○本日のアンケート結果は 19 日までの回収分を単純集計した結果の報告であり、次回会議では全体の集計による分析結果を報告するという理解でよろしいか。 ⇒（事務局）次回は最終の集計結果をクロス集計など含めて報告したい。 【委員】 ○問 12 の定住促進のために力を入れるべきものとして医療費の助成が上位にあがっているが、助成内容の他の糟屋郡の自治体とのバランスはとれているのか。福岡市の医療費の助成の条件が良いという話を聞く。 ⇒（事務局）乳幼児の医療費の助成については、糟屋郡内で同じ程度となっている。福岡市についても、子ども病院が近いという面はあるが、乳幼児の医療費の助成はそこまで変わらない。この比較については、次回までに確認しておく。</p>

	<p><b>【会長】</b></p> <p>○問 1 の住み良さの問で、「子育てしやすい」、「子どもの教育」の項目はあまり住みよさを感じない回答となっており、これまでの子育てしやすいまちとの評価と比べ低いと感じた。</p> <p>○関連して、問 10 の転入にあたって重視した条件で「通勤・通学のしやすさ」が上位にあるが、「子育て環境」や「教育環境」はあまり定住の条件として重要になっていないのかと感じた。問 12 の定住促進に力を入れるべきもの問では、「子育て世代の助成」などをしっかりやってほしいとなっていることから、転入してくる人にとって今までの子育て支援の取組みが定住促進の魅力になっていないのかという印象をもった。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○私もそのように感じた。住み良さの評価で交通の便の良さや買い物の便利さは高いが、子どもの教育の充実、住民のボランティアの参加や行政サービスの充実などは低いので、この部分の矛盾を今後の計画の中で活かしていかないといけないと感じている。</p> <p>○問 6 の各問は 5 点の評価をどうみるか。まちづくりに関わり度では、10～7 点の人は実際に活動している人だと思うが、5 点の人は感謝をしているけれどまちの活動には参加していないという厳しい視点をもたないと計画に活かさないのではないかと思う。</p> <p>⇒（事務局）今回は単純集計の結果を報告させてもらった。年齢別や転入してきた在住年数などのクロス分析などの結果を報告したい。</p> <p><b>■企業アンケート調査結果について</b></p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○企業アンケートについて、町内の事業者は全体で何社くらいあるのか。</p> <p>⇒（事務局）1,000 社程度である。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○粕屋町のデメリットの中で交通の便が悪いことが上位にあがっていたが、交通渋滞などの部分が課題ととらえられているところかと思う。この点は町民の暮らしの部分にもつながるので改善が望まれる。</p>
<p>（2）第 2 期総合戦略素案について</p>	<p>（事務局より協議事項（2）の説明後、順次意見交換）</p> <p><b>■ 1 章・2 章（はじめに～基本的な考え方）について</b></p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○関係人口というのはどういうものをさすのか。</p> <p>⇒（事務局）基本的に関係人口の定義としてはっきりしたものはなく、自</p>

	<p>治体の中で判断していくものとなっているが、定住人口や交流人口とは違った形でまちに関わる人をさしている。ふるさと納税をされる人なども入ってくる。この部分を数値化するかも含め、今後、検討していきたいと考えている。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○住民のシビックプライドの醸成とはどういうことか。</p> <p>⇒（事務局）シビックプライドというのは最近使われている言葉であり、下の解説で「住民の誇り、郷土愛」と説明しているが、それともニュアンスは違ったものと解釈している。</p> <p>粕屋町では転入してもすぐ離れてしまうという流動性が高い課題があるため、地域への愛着を高め、いつまでも住み続けたいと思える地域にすることで人口の定着率を高める施策が必要であるという視点がある。</p> <p><b>【会長】</b></p> <p>○2ページの国・県の連携の推進について、具体的にイメージされていることはあるか。</p> <p>⇒（事務局）移住に関する施策は国・県と連携していかなければ展開できないと考えている。県と関連した連携として、魁誠高校や須恵高校とも連携して進めていきたいと考えている。また、近隣自治体でも同じような取組みを進めているのであれば連携して取り組んでいきたいと思っている。</p> <p><b>■基本目標 1</b></p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○（2）地域の将来の人材育成で、高校と地域が連携するとのことだが、魁誠高校の在校生は地元の人ばかりでないのか。（2）のふるさと教育などは、幼稚園、小中学校でも、地元愛を育てていく取組みが大事だと思うが。</p> <p>⇒総合戦略に載っていないからやらないということではなく、総合戦略の中でどこに集中的に取り組むかということがポイントになってくる。国の地方創生の中では高校生をターゲットとした人材育成をあげており、実際に高校でも地域学習などのカリキュラムを進めていることから、第2期総合戦略ではこれらと連携して取り組んでいきたいと考え、高校について明記している。ゲストティーチャーなどは中学生を対象として現在も取り組んでいる。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○小学校・中学校においては地域が責任を持って教育に取り組んでいるが、高校については県立高校として広域（県）でふるさと教育に取り組ん</p>
--	---

	<p>でいる。地方創生における課題として、高校・大学を卒業して地域を離れてしまい、将来も戻ってこない問題があり、将来戻ってきてもらうためにふるさと教育は大事であると考えている。小中学校はそれぞれの自治体で取り組んでいくと思う。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○公共交通の部分で、ふれあいバスの商業施設への乗り入れというのがある。現在、買い物送迎サービスを実施しているが、利用者に聞いたところでは、行きは良いが帰りのバスがないということで、ふれあいバスは利用しにくいという声があったのでお伝えしておきたい。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○地域特産品の開発は具体的な商品の内容は考えているのか。 ⇒（事務局）特産品開発は商工会主導で、これまでもバラジャムやブロッコリー羊羹などの商品開発を進めている。町としては、その商品を町のブランドとして認定して PR して広めていくことを考えている。第 1 期でも掲げていたが、取り組みが中断していたのでさらに進めていこうと考えている。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○駕与丁公園の民間活力の導入は、具体的に今後進めていくところであると思うが、駅とのバスの接続環境の向上も含め、トータルで検討して欲しい。</p> <p><b>■基本目標 2</b></p> <p><b>【会長】</b></p> <p>○（２）スポーツ・健康のまちづくりでは、健康まちづくりの部分が少ないと思う。同じように、（３）あらゆる人々の活躍の推進もあらゆる人とあるので、高齢者・障がい者等も含めていか、タイトルの工夫を検討してほしい</p> <p>○（４）緑の拠点や景観づくりは、公園・広場の管理・再生の内容になっているので「景観づくり」のタイトルは内容とはそぐわないと思う。 ⇒（事務局）今回は計画素案の段階で、施策タイトルについては、前回の施策テーマ案のまま用いている。施策のタイトルについては、今後の内容をふまえて検討していきたい。</p> <p>「あらゆる人々の活躍の推進」は、第 2 章と第 3 章でかかかっており、第 2 章では女性の活躍の推進、第 3 章では高齢者等のその他の地域活動をあげている。</p>
--	--

	<p><b>■基本目標3</b></p> <p><b>【会長】</b></p> <p>○SDGsのアイコンが記載されているが17目標があがっていないがすべて上げることが必要なのか。あがっていない目標もある。</p> <p>⇒（事務局）17の目標すべてを記載することは義務づけられてはいない。目標によっては粕屋町ではつけられないものもある。</p> <p><b>【会長】</b></p> <p>○（5）循環型社会の構築では、「海の豊かさを守ろう」などの目標はつけられるのではないか。循環型社会の構築の中で最近言われているプラゴミ対策やゴミの減少、リサイクルなどの取組みが付加できるのであれば、「気候変動」の目標もつけられるのではないか</p> <p>⇒（事務局）タイトルも含めアイコンも精査したい。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>○女性消防団員があがっているが、現在すでに活動しているのか。</p> <p>⇒（事務局）女性消防団員は15名が在籍しており、地域消防団とは別に全体で女性消防団が構成され、主に広報活動を行っている。</p>
--	---